

競技上及び審判上の注意事項

本大会は、公認野球規則、及び全軟連規定を適用。但し次の規定を優先する。

1. ベンチは、組合せ番号の若い順を一塁側とする。先攻、後攻はトスにて決める。
2. 試合時間は6回戦1時間20分とする。(プレーボールの後に、両チームへ必ず開始時間を伝えることとする)
時間を過ぎて新しい回には入らない。表の攻撃で時間が来た場合は(先攻チームが勝っている時)、裏の攻撃までやることとする。裏の攻撃で(後攻チームが勝っている時)時間が来た時は、アウトカウントに関係なくその打者で終了することを、球審は宣告しなければならない。
3. 参加資格は、6年生以下で編成したチームで大会前に杉並区軟式野球連盟に登録のある単独チームとする。尚、補強は認めない。ただし、単独で編成できないチームは、合同チームによる参加を認める。不正出場その他規則違反に対しては、杉並区軟式野球連盟規約により処理する。
4. 延長戦は行わず、6回終了時又は制限時間が過ぎて同点の場合は、タイゲームとして正式試合を打ち切り、特別方式を適用し試合を続行する。特別方式は1イニングとし、勝敗が決しない場合は抽選によって勝負を決定する。特別方式は無死一・二塁、継続打順で行う。
5. 得点差によるコールドゲームは3回終了時10点差、4回終了以降7点差、及び降雨、日没により4回以降続行不可能となった時とする。正式試合の成立は4回完了時とする。
6. 投手は変化球を投げる事を禁止する。ペナルティは競技者必携を参照する。
7. 準々決勝以降については、投手の投球制限を70球までとする。
但し、①投球を完了したポークの場合は投球数に入れる。②打者途中で70球に達した場合はその打者が終了するまで投げる事が出来る。
8. ポークについては1回目から適用する。
9. 用具については、打者、走者、次打者、ベースコーチは両側にイヤーフラップの付いたヘルメットを着用し、捕手はプロテクター、レガード、ファウルカップ、スロートガード付きマスク、ヘルメットを着用の事。ハイコンバットを含むすべての用具は、J. S. B. B. のマークの入ったものを使用する事。(木製バットは使用可。)
一般用バットのうち、打球部にウレタン、スポンジ等の素材の弾性体を取り付けたバットの使用を禁止する。
10. 抗議のできる者は監督、当該プレイヤーとする。但し、判定についての抗議は認めない。
11. 選手交替の際は必ず監督が球審に申し出る事。
12. 自チーム、相手チームに対する品位のない言動に充分注意する事。
また、投手が投球モーションに入ったら大きな声を出さない事。
13. 開始予定時間30分前に大会本部にメンバー表3枚を提出し、検印を受けた後、1枚をチーム控えとして返却する(残りの2枚は、対戦チーム用と本部用とする)。試合予定時間30分前に大会本部へメンバー表を提出されなかった場合、または試合開始予定時間に集合しないチームは不戦敗とする。
14. 試合中は、監督に限りグラウンドに出て指示する事が出来る。監督及びコーチはグラウンド内でグローブの使用を禁止とする。父母はグラウンドに入れない。

